

輸送動向について(6月分)

平成20年7月

1. 輸送概況

今月は、14日に最大震度6強を記録した岩手・宮城内陸地震が発生し、高速貨60本が運休した。

荷動きは、輸送障害の影響があったほか、不順な天候の影響を受け、季節商品の需要に盛り上がりを欠くなど、月全体を通して低調に推移した。

品目別にみると、コンテナ貨物は、自動車部品、家電・情報機器などが前年を上回ったものの、農産品・青果物、食料工業品などが前年を下回り、全体では前年比98.4%となった。農産品・青果物は政府米及び民間流通米が減送となった。また、食料工業品は低温傾向により、清涼飲料水が大きく減送となった。

車扱貨物は、すべての品目が前年を下回り、全体では前年比86.7%となった。石油は揮発油・重油が大きく減送となった。また、セメント・石灰石は生産設備の不具合により、減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,883	1,915	98.4%	5,727	5,696	100.5%
車扱	798	920	86.7%	2,581	2,818	91.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	135	145	-10	93.1%
	化学工業品	187	193	-6	96.9%
	化学薬品	138	141	-3	97.9%
	食料工業品	288	304	-16	94.7%
	紙・パルプ	311	316	-5	98.4%
	他工業品	153	143	10	107.0%
	積合せ貨物	197	204	-7	96.6%
	自動車部品	77	66	11	116.7%
	家電・情報機器	39	37	2	105.4%
	エコ関連物資	31	30	1	103.3%
	その他	327	336	-9	97.3%
	コンテナ計	1,883	1,915	-32	98.4%
車扱	石油	486	531	-45	91.4%
	セメント・石灰石	124	145	-21	85.8%
	車両	80	102	-22	78.3%
	その他	108	142	-34	76.1%
	車扱計	798	920	-122	86.7%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)